



ぼくの夢・わたしの夢

119

日置町広報からのスタート

新聞記者を夢みて



日置中学校2年

山根賢典

僕の将来の夢は、新聞記者になることです。新聞は、真実をたくさんの人々に知らせるための重要な情報の媒体の一つです。さまざまな分野のたくさんさんの情報が、記者の確かな目と、知らせたいという情熱によって表されているということに気づき、自分を生かせるのは「これだ」と思ったのです。僕は、人前に出て話すとき緊張してしまい、自分の思いを十分に述べる事ができず不完全燃焼になることがあります。でも、「書く」ということは、自分の思いを十分に伝えることができ、形として残すことができます。その分、責任も重大になってきますが、やりがいもあり、多くの人と文によって情報を

共有できる楽しみが味わえます。何よりも自分の記事によって多くの人との繋がりができるといことが僕を大きくしてくれていると思います。事実を直視するのは辛いことも多いと思いますが、誰もが、真実を求めて読むのだから、事実に基づいて公平な立場で見た記事を書き、皆が知って本当の意味で幸せになるような新聞を作りたいと考えています。これからは、言語を通して豊かな表現ができるように、見聞や体験を広め、磨きをかけていきたいと思えます。日置町最後の年の広報に文を書いたことをスタートに、一歩一歩夢への道を歩いていきます。

日置俳壇

（兼題 障子貼る）

貼り替えし障子明るき佛の門
電線の雀見ている障子貼り
病む母の部屋まつ先に障子貼
不器用に手間ひまかけて障子貼る
山の里男等威張り障子貼る
妻と居て呼吸合わせて障子貼る
障子貼るのりの硬さを手加減
貼り替えし障子無念の穴あきぬ
とりあえず佛間の障子貼り替える
子供部屋障子貼り替え静かな

蟪蛄や留守の玄関守りを
ぎんなんを筵に干して寺は留
冷まじや被害はわが家のみな
母の手にコスモスゆれし車椅子
大寧寺友懐しく初紅葉
松手入れ阿吽の呼吸の夫婦かな
すする茶の夜なべする手に熱かりし
楓葉が色づく日日を待ちわび
停電の台風圏にねをあげぬ
露草に腹撫でられし小犬かな

（雑詠）

こちら119

秋季全国火災予防運動実施
11月9日～11月15日の7日間

長門地区管内では、9月30日現在で、昨年の20件を上回る22件の火災が発生しており、そのうち半数の11件が建物火災となつています。火災による死傷者を出さないためにも、住宅用防災機器(火災警報器、スプリンクラー設備等)や防災製品(パジャマ、布団、エプロン等)を積極的に活用しましょう。

防災製品普及促進防火標語
「大好きな 母さん守る 防災エプロン」

火災予防運動期間中は、運動行事の一環として、一般住宅を対象に「住宅防火診断」を実施します。消防職員が訪問した際には、ご協力をお願いします。



長門地区西消防署 ☎ 32-1230
火災時の問合せ ☎ 22-1414
ホームページアドレス
<http://member.hot-cha.tv/~htb20504/>